

避難所体験共同防災訓練 (小川・小川東町内会共同) から

FMB

First Mission Box

ファースト ミッション ボックスについて



避難所体験共同防災訓練実施までの経過

～小川町内会・小川東町内会共同～

- 30・6 小川町内会で避難所を模擬体験する泊り込みの防災訓練をしてみようと提案。
・テレビでは見ているが、実際にどうということになるのか実感がない。
所詮、他人ごとを感じる。そのため避難が遅れてしまうこともあるのではないかと？
- 30・6 小川東町内会にも声をかける。 11月の防災訓練時の実施を予定。
- 30・7 11月の市の防災訓練が中止となる。 翌年5月の実施を検討。
- 30・11 都の「地域の底力発展事業助成」を活用することにする。
- 31・2 自主防災組織発表会にて牛沼町内会が「**ファースト ミッション ボックス**」を発表。
これを使おうとインターネットで調べる。
- 31・2 両町内会の三役合同会議。訓練の概略を説明、意見交換。
- 31・4 両町内会総会で5月に避難所体験共同防災訓練を実施することを発表。
チラシ、回覧により、参加者を募る。
- 元・5・5 両町内会の合同役員会議を実施。訓練の詳細を説明、意見交換。
- 元・5・11 避難所体験訓練を実施
～12
・小川は小川会館、小川東は玉見会館を使用（消防署の研修は小川会館で実施）
・参加者数 62名（小川 33名、小川東 18名、消防署 3名、消防団 8名）
・12日朝、反省会を実施（泊りは評判が悪く、参加者が少なくなった原因と思う）

避難所体験共同防災訓練の内容

小川町内会・小川東町内会

1日目(土)

- ① 15:30 避難・集合 小川会館および玉見会館
- ② 15:35 点呼
- 15:40 挨拶、訓練内容の説明
- ③ 15:50 **ファースト ミッション ボックス 訓練**
- ④ 16:30 無線訓練
- ⑤ 16:30 給水・放水訓練
- ⑥ 17:00 発電機訓練
- ⑦ 17:30 炊出し訓練 アルファ米(炊き込み)、トン汁 等
- ⑧ 19:30 無線訓練 移動について、小川東町内会から小川町内会へ連絡
- ⑨ 19:40 移動訓練 玉見会館(小川東)から小川会館(小川)への移動準備
- ⑩ 20:00 防災研修 ビデオ視聴、講演 (消防署との連携 この間は電気使用)
- 移動訓練 小川会館(小川)から玉見会館(小川東)への移動
- ⑪ 21:30 就寝訓練 就寝場所割り振り、身辺整理、就寝準備
- 22:00 会館にて就寝

2日目(日)

- ⑫ 6:00 起床、洗面
- ⑬ 6:15 点呼
- ⑭ 6:30 炊出し訓練 アルファ米(白米)、カレー 等
- ⑮ 8:15 充電訓練 各自の携帯電話に充電
- ⑯ 8:30 反省会意見交換 等

避難所を運営するのは住民

避難してから2～3日は誰も助けに来れる状況ではないと思わなくてはならない
 災害発生 ⇒ 自助 ⇒ 救助(72時間) ⇒ 生存者支援(避難所など)

つまり、**避難所で生活する住民は“お客様”ではなく
 全員が“運営者”**

市の職員も来れないと思わなければならない
 町内会の役員だって、避難所に行ける状況かはわからない



そこで、ファーストミッションボックス

First Mission Box

災害発生時に、避難所にて、最初(First)に来た人たちが、
 迅速かつ適確な初動対応が行えるよう、
 その任務(Mission)を記載した指示書(カード)と最低限必要となる事務用品を
 一つの箱(Box)にまとめたものである。



ファーストミッションボックス



各ミッション

ミッション①	1人目	3人集め、ミッションカードを配る
ミッション②	1、2人目	避難場所の安全確認
ミッション③	1、2人目	避難所受付、本部席の設置
ミッション④	3人目	避難所運営組織の編成
ミッション⑤	4人目	居住スペースの割当て



Mission (ミッション)

ミッション① 近くにいる人を3人集める

1人目

3人集めたらミッションカードを配る

- (1) ミッション②と③はあなたと2人目の人が実施
- (2) ミッション④は3人目の人に手渡し、実行してもらう
- (3) ミッション⑤は4人目の人に手渡し、実行してもらう
- (4) 20分後、4人集まり、状況を報告しあうことを指示する

ミッション② 安全なスペースを確保する

1・2人目

避難場所の安全確認をする

- (1) 窓ガラスは割れていないか
- (2) 壁が剥がれ落ちていないか
- (3) 天井が落下していないか
- (4) 危険箇所には張り紙(文房具は受付)

ミッション③ 避難所受付、本部席を作る

1・2人目

- (1) テーブルとイスを持ってきて、受付を配置する (裏面参照)
- (2) ホワイトボード近くにテーブル、イスを持ってきて、運営本部も設置
- (3) ミーティング広場も設置する
- (4) ファーストミッション③用キットから受付開設封筒を出し、中にある、避難者カード用紙、文房具、受付看板等を整備する
- (5) 本部開設キットを出し、中にある本部看板等を本部席に置く
- (6) ミーティング広場の看板をセロテープで貼る

キットあり

各ミッションの文具類の封筒【例】

ファースト・ミッション ③ 用 キット	
内容物	3つの封筒

- ・ 避難者受付 開設封筒
- ・ 本部 開設封筒
- ◎ ミーティング広場 開設封筒

- ・ 避難者受付 開設封筒
- ・ コピー用紙
- ・ 筆記具：ボールペン10本、マジック(油性 黒、赤) 1本づつ
ホワイトボードマーカー(黒、赤) 1本づつ
- ・ セロテープ 2ケ
- ・ 避難者カード用紙
- ・ 避難者カード保管箱
- ・ 受付 看板
- ・ 町内会名簿
- ・ 町内地図

- ・ 本部開設封筒
- ・ 本部 看板
- ・ 町内会名簿
- ・ 町内地図
- ・ 救急医薬品
- ・ 区長(地区長)名札

- ◎ ミーティング広場 開設封筒
- ・ ミーティング広場 看板

FMB訓練スタート 最初の4人



ミッション③ 本部席、広場の設置



ミッション④ 組織編制

The image shows a handwritten organizational chart on a blue grid paper. The chart is titled 'ミッション④ 組織編制' (Mission 4: Organization Structure). It consists of a table with 8 columns and 2 rows. The top row contains department names, and the bottom row contains the names of the individuals responsible for each department.

総務部	経理部	生産部	技術部	営業部	開発部	品質管理	安全管理
菅原 三郎	山本 正次	田中 一郎	佐藤 健二	鈴木 一郎	高橋 誠	山田 太郎	清水 健

ミッション⑤ 居住区分の割り当て①



ミッション⑤ 居住区分の割り当て②



避難者管理班（受付）



ボランティア班



オプション (各活動班が何かしら活動をするように)

概ね17:30～19:30

対象活動班等	内 容	各班の対応
ミッション②	㉑ 館内確認の時に1カ所、破損個所を作って置く	危険のため入室禁止にする
施設・衛生班	㉒ トイレの水が出ないとの連絡	調査し、衛生面から使用禁止にする
給水班	給水訓練時、調理用の水の確保 炊出し	ポリタンク、ヤカン等
給食・物資班		食材・調理器具を用意
情報班	㉓ 明日、10時に停電が復旧するとの電話情報が入る	掲示する
避難者管理班 (受付)	㉔ 避難者の中に〇〇さんがいるか問合せ	避難者カードを調べ対応
	㉕ 避難者に郵便物が届く	区長経由で宛先へ
本部	各活動班リーダーを招集し、ミーティングを行う	結果を掲示する
救護班	㉖ 体調不良者を出す	対応をする
ボランティア班	㉗ どのようなボランティアが必要か、市から電話が入る	対応をする
総務班	㉘ 「犬を連れて行き、一緒に生活したい」との問い合わせ	対応をする

給水班、食料物資班による炊出し



オプション⑥ 体調不良者



就寢訓練（就寢準備）



そして、5か月後の令和元年10月12日、台風19号の来襲。

まさかと思いましたが、

玉見会館（小川東）、小川会館（小川）の両方が避難所として開設された。

（両会館とも避難所に指定されたのは初めてのこと）

この和室2部屋に
25名が避難した





皆さんの町内会・自治会でも実践してみてください。

ミッションカードの内容は、各町内会・自治会に
あったものを考えてください。

FMB訓練を実施したら、危機管理教育研究所に

その内容をメールを送ること